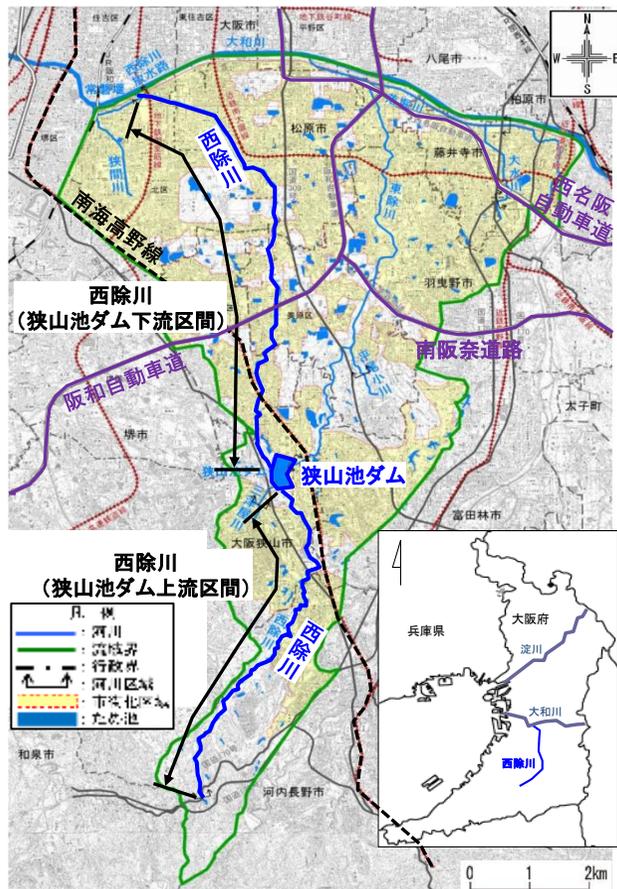

大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の 事業評価について

大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価に対する
主な意見と回答について（府民意見募集結果）

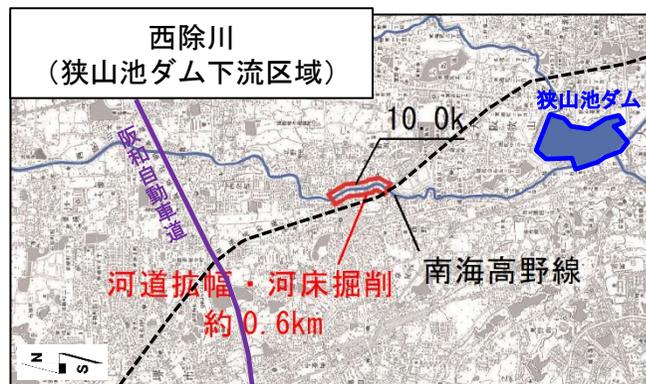
1. 事業概要

事業内容

水系名	河川名	指定区間延長	流域面積
大和川	西除川 (狭山池ダム下流区域)	12.7km	26.52km ²
	西除川 (狭山池ダム上流区域)	10.5km	14.13km ²

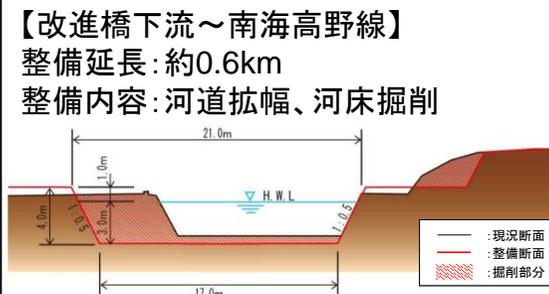


西除川の浸水範囲には阪和自動車道や南海高野線などの重要な道路や鉄道が位置する。

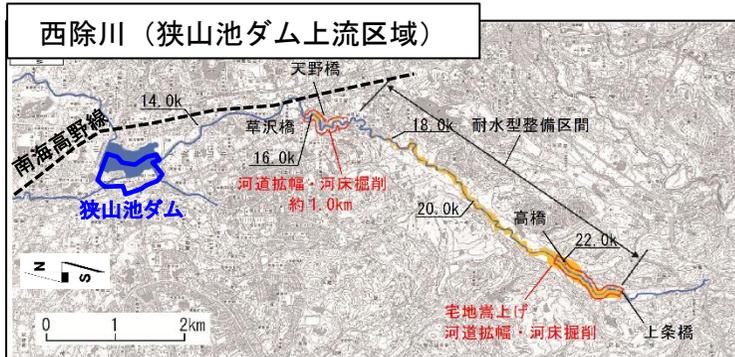


令和5年度第2回
河川整備審議会
資料より抜粋

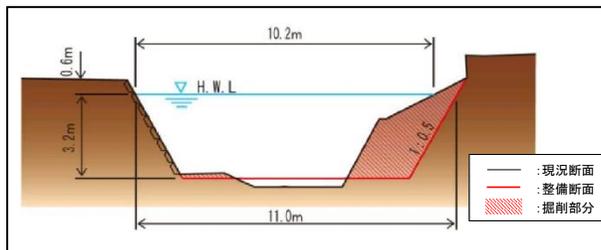
流域市町:堺市、松原市、大阪狭山市
時間雨量80ミリ程度の降雨(100年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川改修事業を実施し、治水安全度の向上を図る。



【改進橋下流～南海高野線】
整備延長:約0.6km
整備内容:河道拡幅、河床掘削



流域市町:大阪狭山市、河内長野市
時間雨量50ミリ程度の降雨(10年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床下浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川改修事業を実施し、治水安全度の向上を図ります。



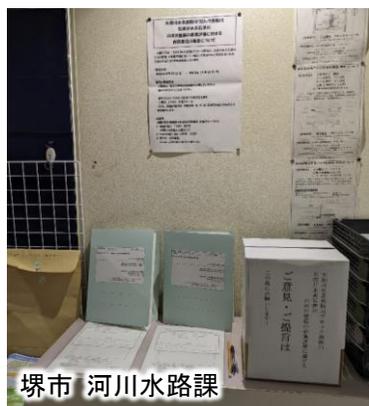
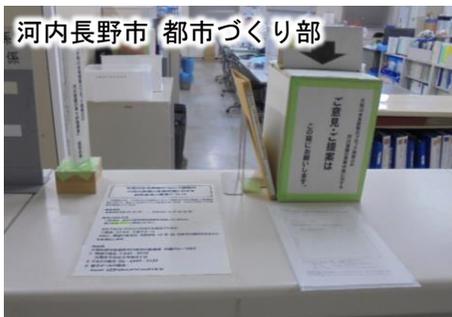
【草沢橋～天野橋】
整備延長:約1.0km
整備内容:河道拡幅、河床掘削
【天野橋上流～上条橋】
整備延長:約5.7km
整備内容:耐水型整備(宅地嵩上げ等)

【図書の縦覧】

➤ 意見募集期間：令和5年9月29日（金）から令和5年10月30日（月）まで

縦覧図書

- 第2回 河川整備審議会資料(R5.9.20)
 - ・河川整備の再々評価調書
 - ・大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について



縦覧場所

- 以下の14箇所
 - ・大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)
 - ・大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)
 - ・富田林土木事務所
 - ・松原建設事業所
 - ・大阪市 建設局 道路河川部 河川課
 - ・大阪狭山市 水資源部 治水対策グループ
 - ・河内長野市 都市づくり部 公園河川課 河川水路係
 - ・堺市 建設局 土木部 河川水路課
 - ・堺市 市政情報センター、市政情報コーナー
 - ・富田林市 産業まちづくり部 農とみどり推進課 水路耕地係
 - ・羽曳野市 下水道部 下水道建設課 計画担当
 - ・藤井寺市 都市整備部 まち保全課
 - ・松原市 上下水道部 上下水道管理課 河川水路係
 - ・八尾市 危機管理課

【幅広い意見募集】

- 意見募集期間: 令和5年9月29日(金)から令和5年10月30日(月)まで
- 府民の皆様から幅広くご意見を募集するため、ホームページ掲載に加え、「大阪府公式 X(旧Twitter)」からも意見募集の案内を広報。

【ホームページ掲載】

大阪府(河川室)

大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。このうち、河川事業・ダム事業において一定の要件を満たす事前評価及び再評価にあたっては、学識経験者等で構成される「大阪府河川整備審議会」の意見を聴き、その意見を尊重して対応方針を決定します。同審議会においては、透明性の一層の向上のため、このたび、大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。なお、ご意見については、下記要領に従い提出をお願いします。

対象事業名
大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備について

1. 募集対象項目

大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価

[大和川水系西除川ブロック西除川\(狭山池ダム下流\)の河川整備の再々評価調査 \[Wordファイル/107KB\]](#)

[大和川水系西除川ブロック西除川\(狭山池ダム下流\)の河川整備の再々評価調査 \[PDFファイル/351KB\]](#)

[大和川水系西除川ブロック西除川\(狭山池ダム上流\)の河川整備の再々評価調査 \[Wordファイル/107KB\]](#)

[大和川水系西除川ブロック西除川\(狭山池ダム上流\)の河川整備の再々評価調査 \[PDFファイル/351KB\]](#)

[大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について \[その他のファイル/5.54MB\]](#)

[大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について \[PDFファイル/2.1MB\]](#)

2. 募集期間

令和5年9月29日金曜日 9時00分 から 令和5年10月30日月曜日 24時00分 (※郵送の場合は消印有効)

関係自治体ホームページによる意見募集の広報

ホーム | 組織から探す | 水資源部 | 治水対策グループ
大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価に対する府民意見の募集について

大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価に対する府民意見の募集について

大阪府では、大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について、府民の皆様のご意見を募集しています。
詳細の内容については、府のホームページでご覧いただけます。

【府民意見の募集についてはこちら(大阪府のホームページ)】

お問い合わせ | 水資源部治水対策グループ

出典:大阪狭山市HP

大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価に対する府民意見の募集について

通常ページへ戻る | 掲載日: 2023年9月29日更新

大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価に対する府民意見の募集について

大阪府では、大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について、府民のみならず、ご意見を募集しています。

詳細の内容については、府のホームページでご覧いただけます。

④ 府民意見の募集についてはこちら(大阪府のホームページ) <外部リンク>

また、市役所窓口(すばるホール4階農とみどり推進課窓口)でも資料の閲覧、意見の投函ができます。

出典:富田林市HP

「大阪府公式 X(旧Twitter)」からの意見募集の広報

もずやん@大阪府広報担当副知事
@osakaprefPR

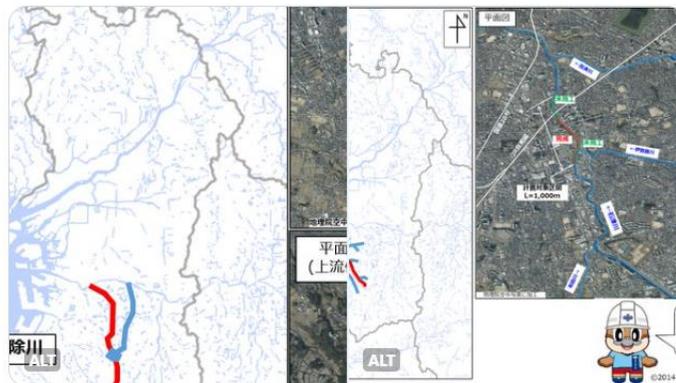
＼府民意見募集中／

西除川と石津川で、安全な川にするための工事をしているねん！みんなの意見を聞かせてな♪詳しくはこちらをチェック☆

○西除川について
pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...

○石津川について
pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...

#土木もずやん #インフラへの理解促進



午後6:00 · 2023年10月4日 · 7,931 件の表示

👤 ポストのエンゲージメントを表示

🗨️ 3

↺ 23

❤️ 81

📌

🔄

府民意見募集結果

いただいたご意見の総数は、3通

項目	件数
1. 治水対策に関するもの	0件
2. 事業進捗の見込み	2件
3. その他	1件
【合計】	<u>3件</u>

2. 事業進捗の見込みに関するもの

<p>「 意見 (2 件) 」 いた だ い た</p>	<p>①6月の雨でも避難指示が出されており、住民の安全のためにも早々に整備してほしい。</p> <p>②一級河川西除川は、昭和57年8月2日の台風10号の影響により、流域の市町村は床上浸水などで大きな被害を受け、国から激甚災害の指定で現在堤防の改修工事が進められ、堺市東区でも南海高野線の急行停車駅として人口密度の高い駅前を府道36号線が西除川を渡る「改進橋」完成が平成26年8月、交通量の多い中での事業として立派に完成され、私たち住民皆さん喜んでます。之より上流には2本の橋梁が構えており橋の幅員を6mに改良して、緊急車両の通過を可能にする計画をされています。設計雨量80mm/時間 以上の大雨が長時間降り家屋に浸水被害が出ないように、あと600mほどの改修工事を進めてほしい。</p>
<p>い た だ い た ご 意 見 に 対 す る 事 業 者 の 回 答 (案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 西除川(狭山池ダム下流)では、時間雨量80ミリ程度の降雨(100年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水の発生を防ぐことを当面の治水目標として河川改修事業を実施しています。現在、整備計画区間(約0.6km)のうち、約0.36kmが完了しています。引き続き、橋梁の架け替えを含む約0.24kmの改修に向けて、整備を進めていきます。今後も、早期に当面の治水目標が達成できるよう、事業の進捗に努めます。 ➤ 現時点では、現河川整備計画における当面の治水目標の達成を優先して整備を進めてまいります。 ➤ 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来的な降雨量、流量増大を想定した場合の治水対策の進め方について検討を進めております。 ※大阪府河川整備審議会治水専門部会 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html ➤ また、国において、全国各地で水災害が激甚化・頻発化していること、さらに今後の気候変動による影響を踏まえ、河川だけでなく、あらゆる関係者が協働して、流域全体で治水対策を行う「流域治水」を推進しているところです。 ➤ 大阪府では、当面の治水目標達成後も浸水リスクはあることから、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、現況及び河川整備後の氾濫や浸水の可能性を示した「大阪府洪水リスク表示図」の公表や河川水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を取っていただくようお願いいたします。 ※国土交通省 流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html 西除川ブロック流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/09_nisiyokegawablock.pdf 大阪府洪水リスク表示図 https://www.river.pref.osaka.jp/ 大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 大阪防災ネット(防災ハザードマップ) https://www.osaka-bousai.net/27000/hazardmap.html

3. その他 コスト縮減について

<p>ご意見(1件)</p>	<p>①『コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点』について、「ストックヤードを活用して現場発生土の他工事(翌年度工事も含む)への流用を図る。」とありますが、具体的にどれくらいのコスト縮減が見込めるのか公表いただきたいです。</p> <p>事業の必要性は理解していますが、事業費が大幅に増加していることに納得しかねます。ストックヤードのほかにもコスト縮減策をご検討いただきたいです。</p>
<p>事業者の回答(案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 西除川の整備工事では、現場発生土を処分せずに流用することにより、1m³あたり約8千円のコスト縮減が見込めます。過去10年間の工事では約7,000万円のコストを縮減しております。 ➤ 工事着手するにあたり現地を再精査した結果による工法の変更や、物価の上昇により事業費が増加しております。工法の変更をする際には、引き続き合理的かつ経済的な工法の選択に努めてまいります。ご理解のほどよろしく願いいたします。 ➤ 併せて、その他のコスト縮減策についても、引き続き検討してまいります。

対応方針(案)

事業の必要性等

- 西除川では、R5.6.2の豪雨（24時間最大雨量193mm）にて、水位が上昇し、避難指示が発令された。また、気候変動に伴う洪水リスクが増大する中で、浸水範囲内家が増加するなど、西除川では河川整備を進めることにより浸水被害を解消する必要性は高まっている。
- 現時点で再度、費用対効果を算出したところ、西除川下流区間のB/Cは1.1、西除川上流区間のB/Cは2.5であり、河川整備の経済的便益性も確認できる。

事業の進捗の見込み

- 大和川水系西除川ブロック河川整備計画（H28.10改定）及び、大阪府都市整備中期計画（R3.3改訂）に位置付けて事業を進めており、R4年度末で、事業の進捗率は西除川下流区間54%、西除川上流区間44%であり、今後の事業で必要な用地の買収も順調に行われている。また、事業の完了予定年度は前回評価から変わらず予定通り進捗している。これまでも河川改修を推進し、治水安全度の向上に努めている。

コスト縮減や代替案等の可能性

- スtockヤードを活用して現場発生土の他工事（翌年度工事も含む）への流用を図る



事業の継続

令和5年度第4回大阪府河川整備審議会【資料3-3】の修正について

・令和5年度第4回大阪府河川整備審議会【資料3-3 大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	5ページ	5ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 西除川(狭山池ダム下流)では、時間雨量80ミリ程度の降雨(100年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水の発生を防ぐことを当面の治水目標として河川改修事業を実施しています。現在、整備計画区間(約0.6km)のうち、約0.36kmが完了しています。引き続き、橋梁の架け替えを含む約0.24kmの改修に向けて、整備を進めていきます。今後も、早期に当面の治水目標が達成できるよう、事業の進捗に努めます。 ➤ 現時点では、現河川整備計画における当面の治水目標の達成を優先して整備を進めてまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 西除川(狭山池ダム下流)では、時間雨量80ミリ程度の降雨(100年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水の発生を防ぐことを当面の治水目標として河川改修事業を実施しています。現在、整備計画区間(約0.6km)のうち、約0.36kmが完了しています。引き続き、橋梁の架け替えを含む約0.24kmの改修に向けて、整備を進めていきます。今後も、早期に当面の治水目標が達成できるよう、事業の進捗に努めます。 ➤ 現時点では、現河川整備計画における当面の治水目標の達成を優先して整備を進めてまいります。 ➤ 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来的な降雨量、流量増大を想定した場合の治水対策の進め方について検討を進めております。 ※大阪府河川整備審議会治水専門部会 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html

	修正前	修正後
ページ	5ページ	5ページ
修正箇所	<p>▶ 全国的な近年の水災害による甚大な被害を踏まえて、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を推進してまいります。その中で、大阪府では、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、地先における現況及び整備後の河川氾濫や浸水の可能性を示した大阪府洪水リスク表示図の公表や河川の水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を行ってください。</p> <p>※国土交通省 流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html 大阪府洪水リスク表示図 https://www.river.pref.osaka.jp/portal.net/suibou/public/ja/gis.html 大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 西除川ブロック流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/09_nisiyokegawablock.pdf</p>	<p>▶ また、国において、全国各地で水災害が激甚化・頻発化していること、さらに今後の気候変動による影響を踏まえ、河川だけでなく、あらゆる関係者が協働して、流域全体で治水対策を行う「流域治水」を推進しているところです。</p> <p>▶ 大阪府では、当面の治水目標達成後も浸水リスクはあることから、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、現況及び河川整備後の氾濫や浸水の可能性を示した「大阪府洪水リスク表示図」の公表や河川水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を取っていただくようお願いします。</p> <p>※国土交通省 流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html 西除川ブロック流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/09_nisiyokegawablock.pdf 大阪府洪水リスク表示図 https://www.river.pref.osaka.jp/portal.net/suibou/public/ja/gis.html 大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 大阪防災ネット(防災ハザードマップ) https://www.osaka-bousai.net/27000/hazardmap.html</p>

	修正前	修正後
ページ	6ページ	6ページ
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 西除川の整備工事では、現場発生土を処分せずに流用することにより、1m³あたり約8千円のコスト縮減が見込めます。 ➤ 工事着手するにあたり現地を再精査した結果による工法の変更や、物価の上昇により事業費が増加しております。工法の変更をする際には、引き続き合理的かつ経済的な工法の選択に努めてまいります。 ➤ 併せて、その他のコスト縮減策についても、引き続き検討してまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 西除川の整備工事では、現場発生土を処分せずに流用することにより、1m³あたり約8千円のコスト縮減が見込めます。 過去10年間の工事で約7,000万円のコストを縮減しております。 ➤ 工事着手するにあたり現地を再精査した結果による工法の変更や、物価の上昇により事業費が増加しております。工法の変更をする際には、引き続き合理的かつ経済的な工法の選択に努めてまいります。 ご理解のほどよろしくお願いいたします。 ➤ 併せて、その他のコスト縮減策についても、引き続き検討してまいります。